茶畑 SRtimes
第 254 号「第 5 回ＳＳＨ国際交流講演会」号
2026 年 11 月 26 日発行
発行元 宮城県仙台第一高等学校「ＳＳ国際交流」

第 5 回ＳＳＨ国際交流講演会
「日本/仙台一高に来て・台湾について」

令和 8 年 11 月 4 日(水)に，5 階多目的教室にて第 5 回 SSH 国際交流講演会が実施され，一年生 20 名二年生 46 名，三年生 1 名が参加しました．今回の講演会の講師は，台湾の国立嘉義高級中学からの留学生である翁萬宸(たつ)くんです．当日はたつくんの自己紹介と質疑応答，そして台湾についてのクイズを行いました. 参加生徒は積極的に講師と交流し，国際理解を深める貴重な講演会となりました.





～たつくんの自己紹介～

自己紹介ではたつくん自身の出身地やプロフィールなどとても興味深いお話をユーモアを交えながら紹介してくれました．たつくんのお話によれば，嘉義には「嘉義の人は七面鳥に乗って通勤・通学をする」という地元ネタがあるほど嘉義と七面鳥は密接に結びついていて，実際に嘉義名物の鶏肉ご飯には七面鳥の肉が使われているそうです．また台湾の工場などにある機械のボタンが緑色なのは「正常に動いている=緑, 故障=赤や黄色」というイメージから来ている，というお話もしてくれました. さらには日清食品株式会社の創業者である安藤百福さんが嘉義出身の日本人だというお話も象徴的でした．出身校である嘉義高級中学については「嘉義高級中学は創立 100 年以上で，日本統治時代に作られたことから初代校長が日本人だった」，「校風が自由で教育プログラムが一高とあまり変わらないこと」などたくさん教えてくれました．年齢の近い講師だったこともあり，生徒たちは親近感を持って聞いていたようです.

質疑応答

Q.　台湾人にとっては日本語と英語どちらが覚えやすいですか？
A.　英語の方が覚えやすいけど，自分は日本語が得意です
Q.　カルチャーショックはありますか？
A.　一高にならあります。例えば赤パンなどです．日本になら授業の挨拶(授業開始・終わり時のお願いします，SHR 開始時のおはようございます)です．

Kahoot!(台湾についてのクイズ)

質問コーナーの後には,ペアを作りクイズ作成ソフトの Kahoot!を使ってゲームを行いました．クイズでの問題はたつくん自身が作ったものでした．序盤ではたつくんの誕生日を当てる問題が出題され，「自己紹介コーナーの良い復習になった」という声が上がりました．その後は好きなタピオカ屋といった個人的な話題から台湾の大学に関する参加者の知識を試す問題が広く出題されました．たつくんや台湾について，より深く知れる,良い機会となりました．

参加者の感想

・たつくんが日本で留学が可能になった理由や一高に来た理由，さらには嘉義高級中学についてなど，たつくんに由来する多くのことを知ることができて良かった．
・台湾についてまだまだ知らないことが多いことを知ったし,実際に住んでいる人でないと分からないようなことまで詳しく知ることができたのでとても有意義だった．
・ゲームに参加できたことが今までの講演会とは異なり，新鮮味があった．

《編集後記》

同年代で，現在は仙台で生活している台湾出身の方の講演を聴くことができ，とても貴重な時間を過ごすことができました．たつくんは日本語を流暢に話しまた日本語の流行り言葉など私たち高校生にも親近感のある話し方も交え，テンポのよい講演会だったと感じました．同時にたつくんの言語能力にも参加者全員が刺激を受けました.講演の題材も機知に富んだお話で参加者全員が楽しみながら学びを得ることができたと思います．今回の講演会の経験をこれからの学習や国際交流での活動に活かし，つないでいけるように積極的に活動していきましょう．